

「第2期柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」【戦略1】
令和2年度実績 数値目標・重要業績評価指標(KPI)検証結果

戦略1 ローカルビジネス・雇用創出



① 基本目標 地域を元気にする仕事をおこし、稼ぐ力、働く場を創出する

里山の魅力といった地域資源や先人たちから受け継いだ伝統文化の活用、さらに、ガーデンツーリズムやサイクルツーリズムといった新たな切り口から、内発的な地域づくりに努め、地域を元気にする生業づくりや仕事をおこし、地域での稼ぐ力を高める里山ビジネス等の創業と育成に努める。

また、農業をはじめ、6次産業化等、産業間の連携によって、就労者の定住に結びつく雇用機会の確保、若者や女性が仕事と子育てを両立しながら活躍できる、魅力ある就労の創出を目指す。

〈施策1〉里山ビジネスの創出

■ 内容

- 農村集落における“地域資源の再発見”や“里山の魅力の再発見とブランド化”に向けた活動を通して、里山に新たなビジネスを創出するために「里山ビジネス振興計画」を策定する。
- 意欲ある農家や集落で取り組む農産物加工所での加工品や特産品づくり、農村レストランでの地域食材の提供等の取組を支援し、地域ビジネスや集落ビジネスの振興を図る。
- 里山ビジネスモデルを担う人材や地域おこし協力隊員、そして地域住民が連携を図りながら、地域の特性を生かしたローカルベンチャー（地域資源を活用し、地域に新たな市場や経済を創出する事業）の創出に向けて、起業家の発掘や事業の持続的発展を担う人材の育成や団体等の地域おこし活動を支援する。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 里山ビジネス振興計画の策定	農政課
● ローカルビジネスを担う人材の育成	農政課
● 農業の6次産業化の推進	農政課

〈施策2〉若者及び女性の雇用機会の拡大

■ 内容

- 新たに事業を始めたい人の掘り起こしと育成支援を図るため、関係機関と連携し、起業家の育成に取り組む
- 企業情報ガイダンスを開催し、若年層の地元企業への定着化を図る。
- 女性や若者の就業機会の拡充を図るため、関係機関との連携を強化し、誰もが働きやすい良好な雇用環境の整備に取り組む。
- 農村青少年や女性支援の事業を通じて、農業後継者や定年後就農を含む新規就農者の育成と確保に努めます。併せて、農業法人への就農についても人材の確保対策を推進する。
- 仙南地域職業訓練センターの認定職業訓練事業により職場に必要な知識、技術等の研修機会を創出するとともに、求職者を対象とした離職者再就職訓練の中で再就職へ向けての支援を行う。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 起業家育成の支援	商工観光課
● 若年層の地元企業等への定着化	商工観光課
● 多様な担い手の育成・確保	商工観光課
● 農業経営法人化への支援	農政課
● 職場に必要な知識、技術等の取得に対する支援	商工観光課
● 雇用の場の確保と就労への支援	商工観光課

〈施策3〉 地場産業の活性化

■ 内容

- 町の基幹産業である農業の経営安定化と持続的な発展を図るため、農業生産基盤の強化に向けたほ場整備を強力に推進するため、事業採択申請、事業計画や営農構想の取りまとめを行う。
- 官民や異業種間での交流を強化するとともに、農業者と地域の菓子店や食品加工業者等が連携し、新たな町の特産品の開発などへの支援を行う。
- インターネット、SNSなどの情報通信を活用し、特産品や新しく開発した商品などの情報発信、販路の拡大等を支援する。
- 中小企業振興資金の斡旋のほか、これまでに誘致した企業や地元企業が、今後も企業活動を継続できるよう、既存企業の高度化や設備の近代化等を支援する。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 農業生産基盤の強化	農政課
● 担い手・営農組織の育成・支援	農政課
● 企業誘致・町内中小企業等への支援	商工観光課
● 農作物の販売システムづくり	農政課
● 特産品の販路開拓	商工観光課
● IT等を活用した特産品等の販路拡大	商工観光課

〈施策4〉 ローカルベンチャーの育成

■ 内容

- 農山村地域等において新たな仕事おこしに挑戦する起業家を育成するとともに、さらに、起業家と伴走しながら事業を軌道に乗せるための支援を行い、ローカルベンチャーが地域に定着する基盤づくりや人と人のネットワークづくりを進める。
- 地域特性を生かしたローカルベンチャー（地域資源を活用し、地域に新たな市場や経済を創出する事業）の創出に向けて、起業家人材の育成や事業の持続的発展を担う人材や団体等の活動を支援する。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● ローカルビジネスを担う人材の育成	農政課・商工観光課

② 数値目標・重要業績評価指標(KPI)

■数値目標

数値目標	基準値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
起業支援数 (年度) 【 商工観光課 】	30人	64人	40人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・柴田町商工会やしばたの未来(株)で創業支援事業(相談・セミナー等)を実施し、起業支援を通して起業実績は1件(美容業)あった。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、やむを得ず中止したセミナーがあったが、主に女性を中心に創業・起業に関心又は希望する町民が増えている現状がある。 ・令和3年度以降も引き続き、町と商工会、しばたの未来(株)が連携して起業支援事業を実施し、起業家の掘り起こしと育成に取り組む。 			

■重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標 (K P I)	基準値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
ローカルビジネス件数 (年度) 【 農政課・商工観光課 】	2件	0件	3件
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興事業等により、里山地域における直売所等の事業の持続的発展を支援しているが、新たな事業創出や特産品開発までには至っていない。 ・引き続き直売所等の支援を通して、地域資源を活用した新たな事業創出や特産品開発を目指す。 			
新規就農者数 (累積) 【 農政課 】	3人	3人	5人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農の相談はあったが就農までには至らなかった。個人での就農や農業法人等への就業など様々な形で就農者を確保することを目指していきたい。 			
特産品開発数 (年度) 【 農政課・商工観光課 】	4件	2件	5件
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・柴田町商工会女性部が、「柚子ポン酢」と柴田町の特産品の詰合せ「宝手箱セット」を開発。 ・町でも、町内事業者等による地域資源を活用した特産品開発に支援を行い、地域をあげて特産品開発を目指す。 			
里山ビジネス体験プログラム参加者数 (年度) 【 農政課 】	73人	12人	300人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により里山ビジネス体験プログラムは1回のみ開催。 ・今後、感染対策を強化した体験メニューの開催を目指す。 			
企業情報ガイダンス参加者数 (年度) 【 商工観光課 】	60人	0人	80人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度は企業情報ガイダンスは中止した。 ・今後、オンラインを活用したガイダンス開催を計画する。 			

「第2期柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」【戦略2】
令和2年度実績 数値目標・重要業績評価指標(KPI)検証結果

戦略2 都市と農村との共生・交流・移住推進



① 基本目標 花のまち柴田への新たな交流・移住の流れをつくる

「花のまち柴田」の魅力や誇りを、今後さらに国内外にアピールするシティプロモーション活動の展開や、インバウンドへの対応を通じて、更なる集客力を上げるために、船岡城址公園や白石川千桜公園の持つ潜在的な魅力に磨きをかけるとともに、ソフト・ハードの両面からにぎわいのあるまちづくりを目指す。

また、里山の魅力とローカルビジネスを組み合わせ、田園志向の強い若者や女性を呼び込み、地域への新しい人の流れをつくる。

さらに、国内外の多くの人々と交流や連携を深める中で、多様な生活文化の創造、まち中や農村でのにぎわいづくりにつなげていく。

〈施策1〉シティプロモーションの展開

■ 内容

- 「花のまち柴田」の更なる魅力の創出や、訪日外国人を戦略的に受け入れるためのインバウンド政策、様々な媒体を通じて国内外に柴田町の特性や魅力をアピールするシティプロモーションを展開し、まちの認知度の向上を図り、集客力の強化に努める。
- 宮城インバウンドDMOと連携し、メインターゲットとして台湾、中国、タイへのプロモーション活動を展開する。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 「花のまち柴田」のブランド化	商工観光課・まちづくり政策課
● 海外へのプロモーション活動の展開	商工観光課
● 新たな広域連携の推進	商工観光課

〈施策2〉移住・定住体制の整備

■ 内容

- 宮城県や首都圏の相談窓口である「みやぎ移住サポートセンター」と連携しながら、子育てや仕事など、地域で暮らすことの魅力を発信するとともに、移住を検討されている方への相談体制の充実に努める。
- 地方に関心のある若者等を地域おこし協力隊員として委嘱し、地域ブランドや地場産品の開発、宣伝等の支援活動に従事してもらうとともに、地域での定住や定着が可能となるよう、自らの仕事おこしや仕事づくりを支援する。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 移住希望者への支援体制の強化	まちづくり政策課
● 地域おこし協力隊員の確保	まちづくり政策課

〈施策3〉にぎわい交流拠点の整備

■ 内容

- 老朽化した太陽の村の施設を再整備するとともに、キッズバイク等のコースづくりや大型遊具等の設置による子どもの冒険遊び場を整備し、親子体験プログラム等の実施により集客力を高め、都市と農村との交流拠点として、にぎわいのある広場づくりに努める。
- まち全体が花回廊で結ばれるよう白石川千桜公園や桜の小径、太陽の村といった交流拠点、街路や公園、さらに、スイセンロード、彼岸花ロードなどをミニガーデンやグリーンインフラでつなぎ、ガーデンツーリズムやフットパス、里山ハイキングなどを通じて、歩いて楽しい街並みや農村空間を整備する。
- 農村や里山が持つ豊かな地域資源を利活用し、農業イベントや農産物直売を通じた地産地消の推進、アグリチャレンジ（小学校農業体験活動）や市民農園等の農業体験、また、里山ハイキングを通して、都市と農村との交流を促進する。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 太陽の村の再整備	農政課
● 都市と農村との交流環境の整備	農政課
● 里山における自然体験・交流の推進	農政課

〈施策4〉魅力ある観光地等の整備

■ 内容

- 船岡城址公園や白石川堤一目千本桜を起点とした魅力あふれる景観や観光地づくり、花巡り回廊の整備、おもてなし作戦の展開、日本の伝統文化に基づくコンテンツの提供等に努める。
- 2市9町で構成する「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」と連携しながら、観光資源を巡る多様な広域周遊ルートの設定やガーデンツーリズム受入環境整備事業などを通じ、国内外における県南エリアの認知度の向上と交流人口やつながり人口の拡大を目指す。
- 新たなスポーツ体験型観光の推進、町内の回遊性の向上、移動手段の課題解決を図るツールとしてサイクルツーリズムを推進するなど、新しい切り口からの観光交流プログラムやスポーツ・健康関連プログラムなどについて検討を行う。
- 効果的な情報発信やプロモーション活動が展開できるスキルを持った観光人材を育成する。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 魅力あふれる景観づくり	都市建設課
● 里山景観の魅力アップ	農政課
● 魅力あふれる観光地づくり	商工観光課
● フットパス、オープンガーデンの推進	まちづくり政策課
● みやぎ蔵王ハーモニー花回廊による広域観光の推進	商工観光課
● 観光人材の育成	商工観光課

〈施策5〉多様な交流の促進

■ 内容

- 自然の恵みあふれる柴田町の地域特性や地域資源を活用し、様々な分野における人と人との交流活動を推進するとともに、自治体間における交流の機会づくりにも努める。
- 外国人観光客への対応としては、分かりやすい情報の提供やおもてなし、「花のまち柴田」の魅力的なコンテンツの提供に努め、国際交流を促進します。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 地域間交流の推進	商工観光課・まちづくり政策課
● 国際交流の推進	商工観光課・まちづくり政策課

② 数値目標・重要業績評価指標(KPI)

■数値目標

数値目標	基準値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
転入超過数 (5 か年累積) 【町民環境課】	-163 人 (H27-R1)	180 人 (R1-R2)	100 人 (R2-R6)
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・例年よりも転入者数が多い数値となっている。考えられる要因としては、新型コロナウイルスの影響で配布が行われた定額給付金や商品券の受け取りを行うべく、住所を柴田町に置いていなかった者がまとまって住所異動の手続きにきたと思われる。 (仙台大学の学生が町外の住所に住所は置いているが体だけ柴田町に住んでいた等) ※実績値は、1月から12月までの1年間の数値である。 			
観光客入込数 (年) 【商工観光課】	457,060 人 (H30)	77,318 人	480,000 人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの中止や旅行などの移動の自粛により国内外からの観光客が減少した。 			

■重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標	基準値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
地域おこし協力隊員数 (年度) 【まちづくり政策課】	2 人	3 人 (脱退1名・新規1名)	3 人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、1人脱退し1人新規で委嘱した。令和2年度は当初、元年度から引き続き2人で活動していた。途中1人が脱退したが、新規で1人が就任したため、合計3人が活動した。なお、令和3年5月に新規1人を委嘱し、現在3人が活動している。 ・今後の地域おこし協力隊員数の増員については、議会からも制度の積極的活用を提案されていることもあり、関係機関とも調整しながら増員を検討し、移住定住を推進したい。 			
船岡城址公園スロープカー乗車人数 (年度) 【商工観光課】	41,089 人 (H30)	9,318 人	43,000 人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・三密を避けるためスロープカーの乗車人数を定員の半分に減らした。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの中止や旅行などの移動の自粛により国内外からの観光客が減少した。 			
太陽の村利用者数 (年度) 【農政課】	31,147 人	25,612 人	42,000 人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時休業するなど、太陽の村利用者数は伸び悩んだ。 			
観光関連業者等の訪問活動数 (年度) 【商工観光課】	20 企業	10 企業	25 企業
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による一時休業やテレワークの普及などから原則訪問活動が制限された。観光物産協会等を中心に接触の機会を設けたが、訪問数は伸びなかった。 			

「第2期柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」【戦略3】
令和2年度実績 数値目標・重要業績評価指標(KPI)検証結果

戦略3 子どもの未来を拓くまちづくり



① 基本目標 安心して子育てができ、未来を拓く子どもを育む社会をつくる

安心して子どもを産み育てることができるよう、保育所等利用待機児童ゼロへの取組、地域の人たちの協働のもとで子どもが元気で活発に活動できる居場所づくりや子どもの貧困対策としての学習支援や子ども食堂への支援等、切れ目のない子育て支援環境を整え、子育て世代や子どもたちを優しく支える地域社会を目指します。

施策の基本方向とそれを実現する上での具体的な数値目標を以下のとおりとします。

〈施策1〉切れ目のない子育て支援の推進

■ 内容

- 保育を必要とする人たちのニーズに応え、安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て環境の整備に努めます。
- スマートフォンやパソコンから子育て情報が入手できる子育てアプリを提供し、子育てに関するきめ細やかな情報の発信を行うことで、新たなコミュニケーションの機会を増やし、子育て家庭の不安や孤立感の解消を図ります。
- 産婦・新生児訪問や各種健診・相談、特定不妊治療費助成や未熟児養育医療費助成などの母子保健事業を充実させ、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援を行います。
- 家庭における男女平等意識の啓発に努めるとともに、育児休業制度や育児休業を取得した男性の事例について、企業、住民に対し広く周知し、男性の育児参画を推進します。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 保育体制の充実	子ども家庭課
● 多様な子育て支援体制の充実	子ども家庭課
● 子どもの活動の場の確保	子ども家庭課
● 相談体制・情報提供の充実	健康推進課・子ども家庭課
● 母子保健事業の推進	健康推進課
● 家庭生活や育児への男性の参画の推進	子ども家庭課・まちづくり政策課

〈施策2〉教育環境の充実

■ 内容

- 各小中学校からの要望に沿った、きめ細やかな学校整備を進め、子どもたちの学習環境の改善に努めます。
- 各学校における学力向上策を支援するため、「教育専門員」を配置するほか、放課後学習室などにより、なお一層の学力の向上に取り組みます。
- 英語で柴田町の良さについて情報発信できるSAKURA PROJECT、放課後英語楽交、JOV活動の取組を推進し、英語学習の拡充に努めます。
- 仙台大学と連携し、子どもたちが楽しくスポーツや運動に親しむ機会をつくるほか、小学校の授業などにおいて学習活動を支援してもらった「未来先生事業」を継続して進めます。
- 「しばたっ子応援団（学校支援ボランティア）」等による学校支援体制を強化し、協働教育支援活動の充実を図ります。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 安全で快適な教育環境の整備・促進	教育総務課
● 確かな学力の向上	教育総務課
● 英語教育の充実	教育総務課
● 地域と連携した協働教育の充実	生涯学習課

〈施策3〉子どもの貧困対策

■ 内容

- 子どもの居場所づくりをはじめ、家庭、学校、地域、職域等、社会のあらゆる分野における全ての関係者が連携し、生活に困難を抱える家庭を支援する体制づくりを進めます。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 子どもへの生活支援・貧困対策の充実	子ども家庭課

② 数値目標・重要業績評価指標(KPI)

■ 数値目標

数値目標	基準値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
出生者数(年)【町民環境課】	227人	214人	300人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 ・例年と特に大きな変動はなし			

■重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標	基準値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
保育所等利用待機児童数(年)【子ども家庭課】	49人(R1)	24人	0人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 ・令和2年4月に私立保育所(定員50人)を開所し受け皿を確保したが、申込みが増加し結果待機児童数が残ってしまった。引き続き、待機児童解消のための民間事業所による施設整備を進めていく。			
子育て支援アプリ登録者数(累積)【子ども家庭課】	—(R2新規)	431人	400人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 ・アプリ登録者数は目標値をクリアしたが、今後も情報提供を行い子育てを応援していく。			

「第2期柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」【戦略4】
令和2年度実績 数値目標・重要業績評価指標(KPI)検証結果

戦略4 安全安心な暮らしを支える基盤づくり



① 基本目標 つながりのある、安全で安心して暮らせる地域をつくる

安全で快適に暮らすことのできる都市基盤や生活基盤の整備に努めるとともに、新たに立地適正化計画を策定し、コンパクトプラスネットワーク型の歩いて楽しいまちづくりに取り組む。

また、多くの高齢者の活躍の場を確保するとともに、交通弱者や買い物難民のための移動手段の確保を図るなど、高齢期においても誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築に努める。

さらに、多発する地震、水害、土砂災害に対応するために、ソフト・ハード両面から自然災害に対する防災・減災力の強化、火災への備え、犯罪や交通事故の防止等、地域の安全・安心力の向上を図るための取組を行う。

〈施策1〉 エリアマネジメントの推進

■ 内容

- 東船岡駅を起点としたエリアに都市機能や居住機能を集約し、様々な生活支援サービスが日常的に受けられるよう、コンパクトプラスネットワーク型の新市街地を形成する。
- ランドスケープデザインに基づき、四季折々に美しい花が咲く街路や歩道、雑木林に囲まれた中で様々なイベントが開催される公園や広場、さらに、街の活動の拠点となる交流施設を有機的に結びつけた歩いて楽しい街並みづくりを進める。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定	都市建設課
● 都市機能集積エリアの設定	都市建設課
● スポーツ施設の整備	スポーツ振興課

〈施策2〉 緑豊かで快適なまちの創造

■ 内容

- 公園、緑地、広場といったオープンスペースや街路樹等をグリーンインフラとして整備し、魅力あふれる都市空間を形成する。
- 船岡城址公園や桜の小径等の保安全管理等を行うとともに、公共スペースの残地を活用した植栽活動を行い、緑豊かで快適なまちをみんなで創る。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 農村空間の保全	農政課
● グリーンベルトの整備	都市建設課

〈施策3〉健康タウンの推進

■ 内容

- 仙台大学と連携し、スポーツに無関心の方や関心はあるがきっかけのない成人や高齢者を対象に、楽しみながら気軽にまち歩きやスポーツに参加し、健康増進や心の健康、生きがいのつくりにつながる環境整備に努める。
- 健康寿命の延伸に向けて、仙台大学などの関係機関と連携した運動教室や介護予防などを通じて、健康増進をサポートする。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● スポーツ活動の振興	スポーツ振興課
● 健康づくり活動の推進	健康推進課・スポーツ振興課

〈施策4〉地域連携・人財の育成

■ 内容

- 地域のあるべき将来像の実現のために、地域計画の実践を支援し、「自分たちの地域は自分たちで住みよい地域にする」といった気運を醸成する。
- まちづくり推進センター「ゆる.ぶら」において、様々な活動団体やボランティアなどで活動している方やこれからまちづくりに貢献しようとしている方々への支援を強化する。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 地域計画に基づく活動への支援	まちづくり政策課
● 地域コミュニティ活動の支援体制の充実	まちづくり政策課

〈施策5〉高齢者の活躍の場づくり

■ 内容

- 人生100年時代を迎え、年齢に関わりなく、それぞれの意思と能力に応じて、働いたり、学びの場や地域活動等に参加し、活躍し続けることができる、選択肢の多い社会を目指す。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 生涯学習の充実	生涯学習課
● 雇用の場の確保と就労への支援	商工観光課

〈施策6〉つながり人口の増加

■ 内容

- 生まれ育ったふるさとや、ゆかりのある地域など、自分の意思で応援したい自治体に寄附をするふるさと納税を推進し、将来にわたり本町に対し興味や愛着を持ち、さらに、応援してくれるファンの獲得につなげる。
- 観光、イベントなどの交流機会、経済活動等、様々な機会の利用を通じて育んだつながりを大切にしながら、継続的な交流の機会の確保や、移住・定住につなげていくことを目指す。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● ふるさと納税の活用	まちづくり政策課

〈施策7〉安全で安心な暮らしの確保

■ 内容

- 要介護状態となったとしても、できるだけ住み慣れた地域で暮らしていけるよう、医療・介護、住まい、生活支援、介護予防のサービスを一体的に提供するための地域包括ケアシステムの構築をさらに推進する。
- 柴田町国土強靱化地域計画を策定するとともに、河川の浚渫や大型の排水ポンプ車の購入、常設ポンプの増設、局地冠水地区の調査などによって、冠水被害の軽減を図る。
- 防災行政無線のデジタル化をはじめ、防災指導員の育成や水防災意識向上マニュアルの作成、さらに防災マップを活用したマイ・タイムラインの普及を図るなど、家庭や地域での防災力の向上により防災・減災につなげる。
- 交通安全対策や犯罪抑止力向上に努め、住民が安全に安心して暮らせるまちづくりを推進する。
- 老朽化する公共施設や社会インフラについて、中長期的な視点から、維持管理、更新、統廃合、長寿命化など、財政負担の軽減や平準化を図る公共施設マネジメントを推進する。

■ 事業メニュー

事業メニュー	担当課
● 地域包括ケアシステムの構築と深化	福祉課
● 防火・防災・減災対策の推進	総務課
● 雨水対策の推進	都市建設課・上下水道課
● 道路交通環境の改善	まちづくり政策課
● 防犯・地域安全対策の推進	まちづくり政策課
● 公共施設の適正管理	財政課

② 数値目標・重要業績評価指標(KPI)

■ 数値目標

数値目標	基準値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
柴田町に住み続けたいと思う町民の割合 【まちづくり政策課】	68.2% (H30)	—%	70.0%
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 ・令和2年度中、標記調査は実施しなかった。令和3年度中に第6次柴田町総合計画後期基本計画の策定準備で町民アンケートを実施し、調査項目に盛り込み標記実績値を抽出・集計する予定。			

■重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標	基準値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R6)
健康づくり教室等への参加者数 (年度) 【健康推進課・スポーツ振興課】	1,830 人	892 人 (320 人・572 人)	2,000 人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止や予約制の導入等による人数制限を取り入れたことで参加者数が大幅に減少した。今後は外出自粛による身体活動量や社会参加が低下し、それに伴う健康二次被害（基礎疾患の悪化、認知機能の低下、フレイルの進行など）が懸念される。健康二次被害の予防が課題			
全スポーツ施設の利用者数 (年度) 【スポーツ振興課】	176,000 人 (H30)	97,841 人	176,700 人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 ・施設利用者については、新型コロナウイルス感染症の影響により体育施設が6月まで貸出しできなかったことや、阿武隈川運動場については令和元年度台風19号の影響により9月まで貸出ができず、利用者数は基準値から大きく減少した。今年度は利用者が各施設の消毒作業を実施することで感染予防の徹底を行っている。今後は利用者が各施設の消毒作業を実施することや主催教室も三密を避ける人数制限等で対応し、感染予防対策を講じた上で例年に近い事業の実施に努める。			
防災指導員数 (累積) 【総務課】	182 人	186 人	210 人
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 ・令和2年度は新たに防災指導員として8名が宮城県から認定を受けたが、すでに認定を受けていた方で認定の辞退や死亡により4名減少したため186人となった。 今後も宮城県主催の防災指導員養成講座を周知し、防災指導員の養成に努める。			
町ホームページへのアクセス数 (累積) 【まちづくり政策課】	4,377,000 件	6,299,000 件	7,577,000 件
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 ・町ホームページへのアクセス数は、前年比で1,922,000件と大きく伸びた。要因としては、昨年の春先から急速に感染拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、町の感染対策等の行政情報を町ホームページから収集・閲覧する行動が増えたこと、また、外出自粛等により一層、閲覧する機会が増加したことが要因として考えられる。			
まちづくり提案制度での提案件数 (累積) 【まちづくり政策課】	33 件	35 件 (R2: 2 件)	38 件
【令和2年度実績値の状況・要因・検証結果等】 ・令和2年度中、2件（意見提案1件、実践提案1件）の提案があった。内、採択は1件（実践提案）。提案者は「上川名地区活性化推進組合」で、提案名は「上川名区の歌（上川名讃歌）の制作」。引き続き、制度の周知を図りながら、広く住民等の知恵と行動をまちづくりに活かす。			